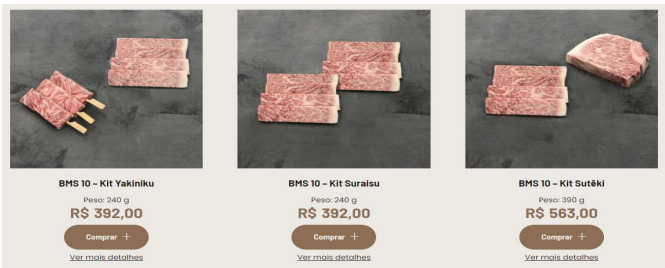


4. 牛肉

- 牛肉（和牛）は高所得者（主に非日系）向け商品
- 市場のニーズも高く、新規でブラジルへの輸出を希望するサプライヤーが存在
- 輸出に当たっての課題、バイヤー等に寄り添った支援が必要

牛肉（和牛）の消費拡大

- 牛肉（和牛）は2019年より輸入（22万ドル）、2021年は36万ドルに輸入拡大
- 購買層は所得層でA～B1層。2000万人程度。
- JETROはブラジルでの日本祭り（20万人来場）などを通じて広報支援を実施。
- 国産牛との差別化に成功しているといえる。



1レアル=22.74円
(2022/2/23時点)

新規バイヤーにおける課題

- 日本の輸出業者数社との商談を実施
- 他方、海外需要が高く、当然、既存の商流を優先せざる得ない。
- また、輸出業者が輸出を希望する場合、ブラジルの認可を取得する加工処理施設を経由するが、現状その施設は3施設のみであり、各種事情で輸出が困難。
- そのため、加工処理施設を増やすことが急務。

5. コメ（精米）

- ・ 高級日本食レストラン等での取り扱い可能性、高所得者向け商品
- ・ 輸出規制への官民連携、初の輸出への挑戦（新規販路開拓）

コメ（精米）のブラジル市場での可能性

- ・ 日本食レストランが1300店舗（推定）
- ・ サンパウロを中心に高級日本食レストランが多く存在し、顧客は主に非日系人となる。
- ・ 主食の一つはコメであり、国内産、海外産のジャポニカ米が多く流通。
- ・ 高級日本食レストランでは、主に海外産のコメを使用しており、これらが日本からの輸入するコメの競合。
- ・ 需要は存在。高級店、本物の日本食を提供するレストランや寿司屋、日本に出稼ぎをしたブラジル人が板前をする店舗など。

ウルグアイ産



米国産



ブラジル国産



新規バイヤーにおける課題

- ・ ①含水率（14%）以上の場合の人体影響の検査、②くん蒸処理、③価格となる。
- ・ ①は指定のプロセスを踏まえ、輸入が円滑に進むことフォローする必要あり。
- ・ ②は2021年5月に発効した規制。
2022年4月29日までは経過措置あり。
- ・ ③は現状流通する海外産のジャポニカ米との差別化に加え、日本ブランドを維持した上での最終的なプライスマーケティングが肝要。

精米価格の比較（小売、2021年9月）

産地	キロ当たり平均
ブラジル産（インディカ米）	¥87
ブラジル産（日本米）	¥153
ウルグアイ産（日本米）	¥207
米国産（日本米）	¥566

※店頭で調査

日本食品店での販売風景



ジェトロの情報サイト

食品に関する情報・動画も随時発信しております！ニュース性あるものは「短信」・テーマを絞ったレポートは地域分析レポートとして、「食」に関する情報もご案内します！

◆JETRO公式HPブラジル



[アクセス先はこちらへ](#)

◆JETRO公式Youtube



[アクセスはこちらへ](#)

◆市場調査・食品に関するご相談はこちらもご利用ください！

[食品の輸出に関するポータルサイト](#)
農林水産・食品分野による
輸出相談サービス
[詳しくはこちら↓](#)

ジェトロサンパウロ事務所

Alameda Santos, 771 Primeiro Andar, Jardim Paulista, CEP 01419-001,
São Paulo -SP, BRASIL

TEL : 55-11-3141-0788 Eメール : infosao@jetro.go.jp

ビジネス情報サイト https://www.jetro.go.jp/world/cs_america/br/

ポルトガル語 <https://www.jetro.go.jp/brazil/>

FACEBOOK <https://www.facebook.com/JETROSaoPaulo/>

<https://www.facebook.com/JETROSaoPaulojp>



インスタグラム https://www.instagram.com/jetro_saopaulo/

https://www.instagram.com/jetro_saopaulojp/



YouTube https://www.youtube.com/channel/UCi3YUmnWN0_nOIJOd4xBoqg

法務税務、食品等に関する相談

https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/br_saopaulo/platform.html